

赤潮調査 宿毛湾19-29

関係者各位

事務連絡

令和元年10月1日
宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので、結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるシャットネラ マリナが最大1細胞/ml、カレニア ミキモトイが最大2細胞/ml、プロロセントラム属が最大1細胞/ml観察されました。シャットネラ マリナについては、魚類の斃死を引き起こす可能性がある種であるため、飼育魚の状態や水色に十分注意してください。また、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大9細胞/ml観察されました。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査は、海水1ml のプランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ マリナ	カレニア ミキモトイ	プロロセントラム属	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(細胞/ ml)			
片島 (別図⑦) 採水時間 9:50 透明度 - m	0.0	27.0	33.2	5.9	0	0	0	0
藻津① (別図⑨) 採水時間 10:04 透明度 - m	5.0	26.6	33.6	5.3	0	0	0	0
大島中央① (別図⑤) 採水時間 10:28 透明度 - m	5.0	26.6	33.7	5.4	0	0	0	0
小筑紫中央① (別図⑬) 採水時間 11:02 透明度 - m	5.0	26.7	33.7	5.7	0	0	0	0